

大館市 **釈迦内小児童、丁寧に** **曲げわっぱの食器制作**



大館市の釈迦内小学校の5年生児童が曲げわっぱの食器制作を体験した。5年生23人が参加し、講師の手ほどきを受けながら給食でご飯を入れる食器を完成させた。

市教育委員会が2013年度から市内の小学校で実施している「曲げわっぱ学校給食活用事業」の一環で2日に実施。地元伝統工芸品に親しんでもらおうと、大館曲げわっぱ協同組合がスタッフを派遣しており、同市の曲げわっぱ製造販売・りょうび庵のスタッフ4人が講師を務めた。

児童は接着剤を付けた底板を本体に慎重にはめ込み、木づちでたたいて固定。はみ出した接着剤を拭き取り、ドライヤーで乾かした。最後は丁寧にやすりをかけて角を取った。食器はりょうび庵でウレタン塗装を施し、10月ごろに児童に渡される。

佐藤虎太郎さんは「接着剤をきれいに拭くのが思っていたより大変で、食器が出来上がるまでに細かい作業があると分かった。自分で作ったもので給食を食べるのが楽しみ」と話した。

本年度は同校を含め市内全17校で実施する予定。(間杉大旗)
(令和7年9月15日(月)秋田魁新聞より一部抜粋)